

唐岬の滝 (からかいのたき): 東温市河之内
高さ114メートル7段の滝。古くからの景勝地で正岡子規や夏目漱石など多くの文人墨客が観瀑に訪れた。『滝五段一段毎の紅葉かな』漱石観瀑の折の作

新サービス棟の完成にあたって

今年度は、独立行政法人の国立病院として10年が経過し、新たな中期計画(第3期)がスタートしています。今回の計画期間中の最重要課題としては、「医療の提供と業務の効率化により生み出した成果を再投資して、クリーンで快適な療養環境を早急に整備する」ことが掲げられているところです。

当院では、昨年4月に病院の名称を「愛媛病院」から「愛媛医療センター」に変更し、6月には念願でありました新病棟(5階建て)が完成した年でもありました。

今年度は、昨年の新病棟に続き、新サービス棟が完成し6月より運用を開始いたしました。この新サービス棟には、入院患者さんに提供する給食の厨房を一新し、オール電化タイプの調

理設備を導入しています。多彩な献立により患者さんの食事におきましても、満足度の高いサービスが提供できるものと考えております。

病院といたしましては、このように療養環境を推進し患者サービスの向上に努めているところでありますが、現在の病院運営は26年度の診療報酬改定等の影響もあり、非常に厳しいものとなっています。病院の整備計画としては外来管理治療棟の建替整備が残っており、できるだけ早期に整備が実現できるように、病院運営に取り組んでまいりますので、今後とも関係者の皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

事務部長 山本 美二

着任のごあいさつ

看護部長 松本 千都世

4月1日付けで就任いたしました松本です。少し自己紹介をさせていただきます。私は、生まれも育ちも松山です。看護部長としては6年目で愛媛医療センターは3施設目です。四国がんセンターの副看護部長から岡山県にある国立療養所邑久光明園で看護部長として2年間勤務後、広島県の福山医療センターで3年間勤務いたしました。邑久光明園は全国に13施設あるハンセン病療養所のうちの一つで、福山医療センターは福山市の中心にある生育医療、がん診療、骨・運動器を政策医療とする急性期病院でした。施設の機能が全く違った2施設を経験し、愛媛医療センターへ転勤してまいりました。

当院は、昨年6月に新病棟が完成し移転しました。これで患者さんが気持ちよく療養できる環境は整いましたが、今後私の課題としては、看護職

員が誇りとやりがいを持ち続け、移り変わる状況のもと患者さんとおして貴重な経験を積み重ね、看護が育つ環境を整えることではないかと考えます。ソロモンの教えに“賢者は聞き、愚者は語る”という言葉があります。賢者と言うには程遠いのですが、スタッフ一人ひとりの思いを聞き学び取り、看護の価値や看護の楽しさを共有することができる仲間を増やすことができると考えています。

看護部長室のドアはいつもオープンにしています。気軽に入って来てください。看護を語り合う場にしませんか。お待ちしております。

看護部長 松本 千都世



サービス棟完成!



当院は、①新病棟新築、②サービス棟新築、③外来管理棟新築という段階的な整備構想があり、その第一段階の新病棟新築については、平成25年6月に完成し昨年7月から運用を開始しています。

第二段階のサービス棟新築は、昨年10月中旬から工事に着手し本年5月に完成し、6月から運用を開始しました。

サービス棟の概要ですが、構造・規模は鉄筋コンクリート造2階建、建築面積1,131㎡、延べ床面積2,033㎡、外観の配色は昨年完成した新病棟を基調としています。1階は入院患者様へ特別食などの食事提供を行う栄養管理室関連（調理を行う調理室や食器を洗う洗浄室等）の給食施設と、一般・職員食堂「れすとらんオレンジハウス」です。2階には職員等の更衣室・休憩室、当直室、医学生・看護学生の更衣室等が整備されました。

新築されたサービス棟の1階にある一般・職員食堂「れすとらんオレンジハウス」は、外来患者様や一般の方どなたでも利用することができます。モットーは『温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食して満足して頂く』です。

営業時間は外来診療日の10時30分から16時です。メニューは日替わり弁当、定食、麺類、丼類、カレー等があります。また、混雑する昼食の時間帯を避ければ、ケーキやコーヒー等による喫茶をゆったりくつろいで楽しむことができます。是非この機会に、新しくなった一般・職員食堂を利用されてみては如何でしょうか。

企画課 高須賀 良樹



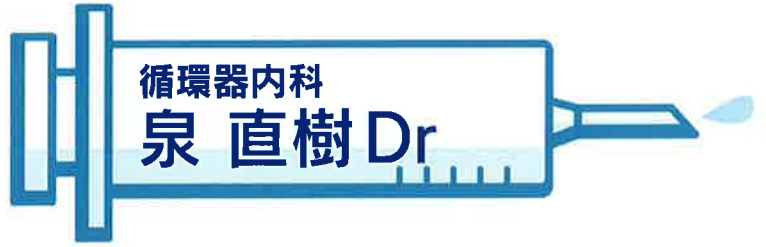
新装オープンした「れすとらんオレンジハウス」

にゅじ

ぶえいす

むくたー

いんやんざんくつらん



平成26年4月1日に愛媛医療センター循環器内科に赴任して参りました泉直樹と申します。愛媛県出身で幼少期の頃から高校まで東温市で過ごしてきましたので、今回東温地区の愛媛医療センターで診療できることを大変うれしく思っています。これまで臨床研修医2年間を県立中央病院と愛媛大学で、専攻医からは循環器内科として県立中央病院循環器内科に計4年間、市立宇和島病院4年間といった中予南予の基幹病院で主に循環器診療（狭心症や心筋梗塞に対するカテーテル治療、不整脈に対するペースメーカー治療など）に携わってきました。循環器疾患は短時間で病状悪化することもあり、これまで非常に忙しく、また充実し

た日々を過ごしてきました。現在動脈硬化性疾患も年々増加する世の中ですが、自分の診療においてそのリスクを少しでも下げられるよう努力していきたいと考えております。

東温市は昔とは随分姿形も変わりましたが、人柄は昔とは変わらず患者様、スタッフの方々も非常に優しく接して頂き、仕事のやりやすさを日々痛感しております。まだ病院のシステムに不慣れなことは数多くありますが、今までの経験も生かし東温市圏内の医療にしっかり貢献できるように精一杯頑張りたいと思います。よろしく願います。



4月から愛媛医療センターに転勤してきました、小児科の濱田智子です。平成18年愛媛大学卒です。出身は愛媛県新居浜市でそのまま高校、大学と県内で過ごし、愛媛大学小児科に入局して、さらに県内を巡り巡ってこちらにお世話になるようになりました。これまでは愛媛県立中央病院、市立宇和島病院、愛媛大学附属病院、松山市民病院で勤務したことがあります。

趣味と言えるかはわかりませんが、夫も小児科医で夫婦そろって旅行と大食いが大好きなため、普段はヘルシー料理の研究と水泳ダイエットに励んでいます。

これまでは一般小児科で感染症などのcommon diseaseを診ることがほとん

どだったので、こちらではNICU出身の障害児や重症心身障害児(者)について、一から勉強して少しでもお役にたてるように頑張っていきたいと思っています。post NICUでは大泣きしている赤ちゃんから、話しかけるとニコニコしてくれるダウン症のおばあちゃんまで幅広い年齢層、多様な疾患の患者さんと出会えます。溺水などの事故が原因で完全寝たきり、呼吸器管理中の方など、つらい経過の方もいますが、皆さん、家族に大事にされています。そういった患者さん達としっかり向き合えるように日々精進していきたいと思っていますので、よろしく願います。

地域の輪



繋がる地域医療連携

特別養護老人ホーム ガリラヤ荘

ガリラヤ荘は昭和48年に旧川内町に開設されました。その後、平成20年11月に移転し、特別養護老人ホーム80床（8ユニット）、ショートステイ20床（2ユニット）、デイサービス30名/日を定員とした施設として、今年創立41周年・移転5周年を迎えました。

特別養護老人ホームはユニットケアという全室個室対応の施設となり、利用者の一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した「個別ケア」の実現を目指しております。また、施設入所された利用者が住み慣れた施設で最期まで過ごしていただくように「看取り」も行っています。

可能な限り在宅で生活されている皆様が、必要になったときに安心して入所できる。また、それまでは安心して地域で暮らすことができるような施設「社会資源」でありたいと願い、努力しております。

その他にも介護者の休養や緊急時等に一時的にご利用いただけるショートステイ、日中ご利用いただけるデイサービス、ケアマネジャーのいる居宅支援事業所、相談・各種サービスの紹介やお申

込みの手伝いをする在宅支援センターがございます。見学、介護相談等、随時受け付けておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

愛媛医療センターを中心とした医療機関と連携を図り、地域に貢献できる施設となれるよう努力して参ります。今後ともよろしくお願いたします。



開診

息切れ外来

当院では2014年6月より、午後の専門外来として“息切れ外来”を開設することとなりました。

この“息切れ外来”の目的の一つは、“息切れ”について心配な患者さまの診断と治療方針決定です。

急に、あるいはだんだんと悪くなってきた息切れについて、肺機能検査や心機能検査などさまざまな検査を行い、原因疾患を診断し今後の治療に役立てていただきたいと思います。

原則として当外来では治療は継続せず、適切な医師に紹介させていただくこととしていますが、しばらくの間、治療方針決定のために通院していただくことがあると思います。

息切れが気になる、息切れでしんどいという方はお気軽にご相談ください。

当外来の二つ目の目的は重症の呼吸不全患者さまの治療です。

通常の薬物治療だけでは息切れが改善できない通院可能な患者さまを対象に、包括的な呼吸リハビリテーションを提案させていただきたいと考えています。

具体的には、理学療法や栄養指導、在宅酸素療法、在宅人工呼吸などから患者さまの病状に合ったものを提案し、より安心できる医療環境を提供していきたいと思ひます。

こちらの患者さまは当外来での継続治療を想定していますが、患者さまの希望に応じて対応したいと思ひます。

毎週月曜13時30分から15時30分まで、原則予約制です。当日午前中までにお電話またはファックスをいただければ受診可能ですので、当院地域医療連携室（直通TEL089-990-1923、FAX089-990-1896）または内科外来までご連絡ください。



“息切れ外来”担当 呼吸器内科 渡邊 彰

医 心 伝 心

脂肪肝、NASHのおはなし

脂肪肝とは肝臓に脂肪が過剰に蓄積した状態です。全国集計によると検診で肝機能異常を指摘された人の3分の2は脂肪肝が原因と言われています。脂肪肝の患者数は近年急増しており、現在では推定で約3,000万人、成人の3人に1人の割合に達していると言われています。

脂肪肝の主な原因は①肥満②アルコール③糖尿病です。肥満の場合には過食により余ったエネルギーが脂肪として肝臓に蓄えられる上に、お腹等にたまった脂肪が分解されて脂肪酸となり肝臓に運ばれて脂肪となります。アルコールの場合にはそれ自体が余分なカロリーとなる上に、肝臓が障害され脂肪が処理できなくなってたまってきます。糖尿病の場合には血液中に溢れた糖が肝臓に運ばれ脂肪に変えられます。脂肪肝の方は肝臓以外にお腹の中の臓器にも脂肪が蓄積していることが多く、糖尿病、高脂血症、高血圧、心筋梗塞など生活習慣病になりやすいと言われています。

最近、脂肪肝の中で非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)が注目されています。これはお酒を飲ま

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

ないのにアルコール性肝障害と同じような変化をおこし、しかも将来、肝硬変、肝臓癌になる可能性がある病気です。脂肪肝の人の約1割にNASHが発症すると言われています。

脂肪肝には症状はなく、検診の採血や腹部超音波検査がきっかけで偶然、発見されることが大部分です。肥満や運動不足があればそれらを改善することが必要です。また、食事内容を見直すことも大切です。

肝機能異常を指摘された場合にはそのまま放置せず、医療機関への受診をお勧めします。個人個人に合った食事・運動療法の指導が受けられます。

消化器内科 古田 聡



医療安全室
管理より
だより
こんなことしています

ポケットの中の心強い味方

医療安全ハンドブック改訂版発行

医療の現場で働く私たちは、常に患者さまの安全を第一に医療の提供をしています。しかし、現状はヒヤリハット・アクシデントがいつ発生するかも知れない緊張を要する環境の中で業務をしています。

愛媛医療センターでは2010年に、医療現場で起こりやすい事故防止対策、問題発生時の適切な対応をまとめた医療安全ハンドブックを作成し全職員へ配布しました。不安なとき、自信のない時にいつでも確認でき、医療安全最優先に役立てるようにしたのです。今回、追加修正を行い再発行することができました。新人もベテランも、全職種すべての職員が常にポケットに携帯・活用して、常に安全で安心な医療の提供に努めています。手のひらサイズの、このハンドブックがきっと味方になってくれます。

私たちは、外来受診・入院される患者様の安全を守るため、職員一丸となり日々取り組んでいきます。



MSWの藤田です

よろしくお願ひします



4月から地域医療連携室に入職した医療ソーシャルワーカー（MSW）の藤田美佐恵と申します。西条祭りをこよなく愛する西条人です。西条市からの通勤にも少し慣れてきたので、これから愛媛医療センター周辺や東温市内をいろいろと探索してみたいと思っています。

愛媛医療センターに来て感じたことは、とても温かい雰囲気を持つ病院だということでした。失敗の繰り返しで、皆さんには日々ご迷惑をおかけしている私ですが、周囲の方々がいつも温かくサポートしてください。いろんな職種や大勢のスタッフがいる中で、人の温かさや思いやりを感じさせてくれる病院です。

愛媛医療センターへの入職は、私にとってMSWの原点に立ち返り見直す良い機会であり、地域の中や組織の中でのMSWの役割や有り方の基本を一から学べる機会になりました。この出会いに感謝しています。

これからMSWの仕事を通して多くの人と関わり、その方々の話を聞かせて頂くことによって、自分自身が人として成長していきたいと思っています。いつも感謝の気持ちを忘れずに、明るく笑顔で頑張りたいと思っていますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

四季燦餐

～夏バテ予防の巻～

毎日暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

暑い日が続くと、「だるくて、疲れやすい。」「食欲がない。」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「夏の身体の不調」としていわれる「夏バテ」は、暑さからくる食欲の低下や食事の偏り、大量の発汗、睡眠不足などが原因であるといわれます。

アイスクリームや冷たい飲み物をたくさん摂ったり、口当たりの良いさっぱりした食事だけに偏ってしまうと、必要な栄養を十分に摂ることができないだけでなく、水分が多くなってしまいうため、胃液が薄まってしまい、消化機能が低下して、さらに食欲不振に陥りやすくなってしまふと言われています。

暑さに負けないように、

- ①しっかり栄養補給
- ②適度な運動
- ③十分な休養
- ④こまめな水分補給

で脱水予防を心がけましょう。

「夏バテ」予防で一番大切な事は、バランスよく食べることです。

その上で、

- ①エネルギー代謝をよくする…豚肉・ウナギ・玄米など（ビタミンB1）
 - ②抗酸化作用…トマトなど（リコピン）
 - ③疲労回復効果…梅干し・レモンなど（クエン酸）
- を取り入れるとより効果的です。

また、夏野菜（キュウリ・ゴーヤなど）には、体内の余分な水分や熱をとる効果があります。

まずは、今日から、プラス効果のある食材を食卓に取り入れてみませんか。

※現在治療中で、食事制限のある方は主治医にご相談ください。

本日
土用丑の日



参拝者に健康相談

今年も隻手薬師境内で



5月12日(月)に『看護の日』の恒例行事となった、香積寺(隻手薬師)での健康相談を開催しました。

当日は朝から曇天強風、10時頃からは雨も降りだすという生憎の天候でしたが、ライトグリーンのスタッフジャンパーを着たナースが参拝者に、骨密度や体脂肪率の測定を呼び掛けると、「ほんなら測ってもらおか」「毎年楽しみにしとんよ」と答えながらテントの中へ。雨が降り始めてからも来場者は途切れることなく約200名の善男善女が健康相談を受けてくれました。



中にはナースのご近所さんが参拝に訪れ「あれっ!こんなとこに出張しとる」「ほうなんよ、看護の日の行事で来とんよ。測って行って」とご近所外交に花が咲く場面も…。

また、当院のOBが顔を出して「久しぶりじゃなあ、元気にしとった?」「あんた今どこの病棟におるん?」とベテランナースと旧交を温めたりもしていました。

お薬師様のお導きによるこの仏縁を大切に、また来年もお目にかかれることを心待ちにしています。

最後になりましたが、毎年境内にテントを張って迎えてくださる香積寺のご住職はじめ関係者の方々、骨密度測定器を貸して下さった株式会社サンメディカルさん、ポスター掲示を快く引き受けて下さった各方面の方々、その他ご協力くださった方々に厚く御礼申し上げます。

南無薬師如来

新採用者 転入者

宿泊研修

宿泊研修を終えて

一泊二日の宿泊研修では、当院の目標達成に向けて職員として何が出来るか、どこを改善したらよいかをグループ討議で意見交換しました。一日目は、緊張をとり除けるよう、じゃんけんゲームやクイズを行い、少し和んだところで、テーマを



班別討議発表

決めて討議し、発表の為にポスターを作成しました。なかなかまとまらない内容にアドバイザーの助言、他職員からの見方の違った意見に目から鱗の私でした。徐々にテーマが一つになり枝葉が出てきました。夜の意見交換会では、普段話す機会の少ない院長先生、副院長先生他幹部の方々の知る事の出来ない一面を発見する事ができ本当に楽しく会話が出来ました。二日目は、前日の続きをまとめて、各グループの発表が行われました。今回の研修参加は、各職種の採用職員や転入職員が各グループに分かれ普段なかなか接点の少ない職員との関わりから始まり、私の楽しい思い出になりました。

23病棟 看護師 入江悦子



楽しく和やかに 意見交換会



ROOKIES '14

4月1日付新採用者に、ひとつずつ抱負や意気込みを語ってもらいました



1階病棟 看護師 富岡莉紗

個別性のある看護を目指して日々努力を惜しまないよう頑張ります。



1階病棟 看護師 家藤祐太

よりよい看護が提供できるよう何事にも誠実に取り組んでいきます。



P-NICU 巻幡真由美

皆様から信頼していただけるように、真心こめて看護いたします。



1階病棟 看護師 山田里奈

個別性に合わせた看護ができるよう頑張っていきたい。



2階病棟 看護師 河野友紀

刺激が多く毎日勉強になっています！よろしくおねがいします。



2階病棟 看護師 木澤有希

早く一人前の看護師になれるように毎日頑張っています。



3階病棟 看護師 小椋まなみ

一生懸命がんばるのでよろしくお願いします！



2階病棟 看護師 麓亮太

笑顔で患者さんに関わりよい看護が実践出来るように頑張ります！



3階病棟 看護師 芳野唯香

様々な患者さんを通してたくさん学びを深めたいです。



3階病棟 看護師 小田紗希花

信頼され笑顔をお届けられる看護師になれるよう精一杯頑張ります。



4階病棟 看護師 白石滝一

まだまだ未熟な為、たくさん勉強して一人前の看護師を目指します。



4階病棟 看護師 楠由華

患者様の話に耳を傾け、寄り添っていける看護師になりたいです。



4階病棟 看護師 富田尚子

1日でも早く業務に慣れ、心の余裕を持って仕事に臨みたいです。



4階病棟 看護師 西村里奈

患者様に頼って頂ける看護師を目指して笑顔忘れずがんばります。



21病棟 看護師 菊澤由香

今年新人看護師になりました菊澤です。精一杯頑張ります。



21病棟 看護師 谷岡優衣

一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



22病棟 看護師 菅しのぶ

笑顔とやさしさを忘れないよう頑張ります。



22病棟 看護師 滝沢健太

技術、知識等まだまだ足りないため少しでも早く一人前になる。



23病棟 看護師 塀菜緒

患者の変化に気付ける細かな観察を怠らず、探究心を持ち続けたい。



23病棟 看護師 目見田浩史

患者様へ安全安楽な処置やケアが実施出来るよう頑張ります。



手術室 看護師 松下知美

看護師として、また人として成長できるよう頑張ります。



手術室 看護師 矢野貴志

新しい病院で、一から学ぶつもりで頑張っていこうと思います。



看護学校 教員 羽藤典子

いつも明るく笑顔を心がけ、学生の教育に精一杯頑張ります！



管理課 庶務係 三好慧

仕事に早く慣れて、皆さんの役に立てるように頑張りたいです。



企画課 財務管理係 多田朱里

早く環境に慣れ、できることを少しずつ増やしたいです。



理学療法室 作業療法士 上岡紗由美

患者様の人生に寄り添い、明るい笑顔と元気な姿で頑張ります！

転入者紹介

4月1日付で当センターへ赴任してきた職員です。
よろしくをお願いします。

氏名	職名	部署	前任地
松本千都世	看護部長	看護部長室	福山医療センター
中上美代子	看護師長	23病棟	高知病院
佐久間千代子	看護師長	4階病棟	呉医療センター
佐川綾香	看護師	1階病棟	呉医療センター
児島慶世	看護師	2階病棟	東広島医療センター
入江悦子	看護師	23病棟	大島青松園
樋口政雄	診療放射技師長	放射線科	南岡山医療センター
明比一郎	臨床検査技師長	検査科	南岡山医療センター
兵頭静子	生理学主任	検査科	四国がんセンター
吉田英樹	理学療養法主任	理学療法室	岡山医療センター
坂本真布	児童指導員	療育指導室	柳井医療センター
西田益三	保育士	療育指導室	賀茂精神医療センター
西竹敬樹	専門職	企画課	高知病院

気持ちも新たに

ピンクストラップ卒業式

入職から1年がたち、1年生のあかしであるピンク色のストラップから同期全員で先輩看護師と同じ赤色のストラップに無事変わることができました。ピンクストラップ卒業式では、それぞれが1年間で感じたことや、看護の経験で心に残ったことを自分の看護観という形でレポートにまとめ発表しました。それぞれが、各病棟で様々な患者様と関わり、いろいろな経験をしていることが発表を聞く中で実感できました。患者様により安楽に過ごして頂くためにはどのように関わればよいか、患者様がどのように過ごすことを望まれているかを考えることが看護を行っていくうえで大切なんだと改めて感じました。入院されている患者様だけでなく、ご家族との関わりを持ちながら自分の看護が良かったと感じる瞬間があったり、時には失敗したり…。周りの先輩スタッフに支えて頂きながら乗り越えることができた1年間でした。1年間の総まとめとして互いに成長を実感できる卒業式でした。

ピンク色のストラップから赤色のストラップに変わり、うれしい反面、不安に感じることもあります。今まで、先輩方にサポートして頂いていた部分もこれからは少しずつ自立していけるよう成長していきたいと思います。まだまだ未熟な私たちですが、チームの一員、愛媛医療センターのスタッフの一員として頑張っていきます。これからもよろしくをお願いします！

3階病棟 和氣坂 美歩



成長の証し...

看護学校の頁 ～学び舎から～

私たち第13期生36名は、4月9日、来賓の方々や病院・学校職員の皆様、家族に見守られる中、愛媛医療センター附属看護学校の入学式を迎えることができました。式当日はよい天気、学校前の桜は、入学式を待ちきれなかったようで満開は過ぎていましたが、何とか散らずにいた花たちが私たちの入学を待ち望んでいてくれたように感じました。

式典中「誓いの言葉」で入学生が述べたように、36名それぞれの思いや今まで過ごしてきた環境は異なりますが、看護師になるという同じ目標をもつ新

しい仲間と共にスタートラインに立たれたことをとても嬉しく思いました。

これからは今までと学習内容も一転し、ゼロからのスタートです。初めてのことばかりで不安は大きいですが、これからたくさんのことを学べるという期待もあります。また、今後授業や実習で多くの方々と出会えることで、自分自身の視野が広がっていくことが楽しみでもあります。

社会の中で看護師の需要が高まっている昨今、私たちに求められるのは即戦力となる実践力を身につけることだと思います。「3年間もある」と考えるか、「3年間しかない」と考えるかによっても時間の過ごし方が大きく変わります。限られた時間の中でどれだけのことを吸収できるかは自分自身の取り組み方にかかっています。これから3年間の学校生活で経験していくことが全て看護師を目指す今後の自分の基礎を作っていくことを常に意識し、看護学生としての自覚を持って生活をしていきたいです。



第13期生 沖石 みさと

第十三回 入学式

ちよつと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

生来の人嫌いというわけでもないのだが、時折、無性に独りになりたい時がある。私は淵明のような達人ではないので「心遠く地自ずから偏なればなり」などという仙人紛いの境地には到底至れない。テントと寝袋を担いで手つ取り早く物理的孤独の森へ逃げ込むことにしている。

私の行きつけは、あまり人気のないキャンプ場で、あるものといったら、簡単な水場とポッチャン便所のみ。「あとは勝手にやってくれ。但し全ては自己責任で」というまことに打って付けの隠れ場所。アクセスは：私だけの聖域なので詳細は教えない。愛媛県内の某所とのみ記しておく。

さて、そこで私は何をするかというと、大好きなジンソーダをすすり乍らテッキキエアに寝そべって微睡んだり：気が向けばそこいらをブラついたり：要するに何もしない。只々怠惰と弛緩の水面をたゆたつのみ。やがて薄暮が辺りに浸透してきて「山気日夕に佳く飛鳥相与に還る」の図を我がこととして体感すると、「此の中に真意有り。弁せんと欲して己に言を忘る」の境地に至った気がする：あくまでも：気がする。

煩雑と喧騒と多忙と不条理。或いは期限とノルマと駆け引きの業火の中でのたうち身悶えしている其処の「あなた」一度何もかも放り出して独りで出掛けてみませんか。心を病むべからいなら：いつそ、その前に。

樹懶菴



外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	船田 泉	泉 藤井 藤田	岩田 藤田	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保	山内(一) 糖尿病専門 廣岡	久保
呼吸器内科	阿部	市木 渡邊	佐藤	阿部 植田	市木
神経内科	小原	家田			戸井
外科 午後のみ診療	☆石丸				
消化器外科		鈴木	森本	☆渡部 (隔週・午前)	
呼吸器外科				☆澤田(偶数月)☆末久(奇数月) (第1・15時~) ☆佐野 (第4・14時30分~)	湯汲
心臓血管外科				☆泉谷 (隔週)	
小児科(小児神経) 午後のみ診療	☆矢野		☆濱田		☆矢野
整形外科 午前のみ診療	横手 宮本	曾我部	横手 曾我部	宮本	宮本(第2・4) 曾我部(第1・3・5)
☆専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 船田 息切れ外来 渡邊 (13時30分~ 15時30分)	心臓リハビリ 泉	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 船田
		スキンケア外来 第1・3(午前)	ペインクリニック 山内(康):午前	フットケア外来 毎週	糖尿病外来 古川(第2・4)
		アスベスト外来 (13時~16時)	SAS外来 植田(午後)	アスベスト外来 (13時~16時)	SAS外来 渡邊 (14時~16時・再診のみ)
			神経難病 橋本	ペースメーカー外来 (第2・4午後)	じん肺外来 西村(第1・3午前)

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。2014年7月1日現在
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群) ※☆は予約制

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

当院の位置と交通



高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分
(川内ICから当センターまで車で5分)

交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
- 自家用車 無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊誌へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。